

とり
鳥の本

🐦 『めをさませ』

五味 太郎 // 作

絵本館

E/メ

お月さまの上で寝ていた生き物が、真っ逆さまに落ちました。「おきろ！」「めをさませ！」という呼びかけでついに目を覚ました生き物は、果たして無事に着地できるでしょうか？

🐦 『ケイゾウさんは四月がきらいです。』

市川 宣子 // さく
さとう あや // え

福音館書店

F/I

ケイゾウさんは幼稚園に住んでいるニワトリです。4月、ケイゾウさんの家にうさぎのみみこがやってきてケイゾウさんのくらしは一変。ニワトリのケイゾウさんと、うさぎのみみこの1年間を、紹介します。

🐦 『かわいいことりちゃん』

コナツ マキコ // 作
コナツ コウイチ // 絵

ことりちゃん

E/カ

オカメインコのことりちゃん。大好きなのは、なでられること、とぶこと、そして、いっしょに歌うこと。ことりちゃんのかわいい仕草や表情を楽しめる絵本です。

🐦 『ツバメ観察記』

孝森 まさひで // 文・写真

福音館書店

488.9/コ

春になると日本にやってきて、子育てをするツバメ。親鳥が巣をつくって、卵を産み、ヒナたちが巣立つまでの様子を、たくさんの写真と一緒に紹介します。

🐦 『江戸っ子さんきちと子トキ』

菊池 日出夫 // 作

福音館書店

E/工

現在、絶滅を心配されているトキは、江戸時代はもっと身近な鳥でした。巣から落ちたトキのヒナを保護したさんきちは、巣立ちのときまで大切に育てることができるでしょうか？

🐦 『とりあえずとりのはなし』

おくはら ゆめ // 作

あかね書房

F/オ

スズメのはなこ、メンフクロウのしろさん、ヤマシギのやまさんの、3羽の鳥についてのお話を集めた短編集。人間のはなちゃんか描いた絵を通して、3つのお話がつながります。

🐦 『ジャノメ』

戸森 しるこ // 作
牧野 千穂 // 絵

静山社

F/ト

動物園に住むメスのクジャクのピーコは引きこもりで、自分のオリから出てきません。現在と過去の物語が交互に語られ、ピーコが引きこもりになったきっかけが明かされます。

🐦 『とりがないてるよ』

ヨアル・ティーベリ // ぶん
アンナ・ベンクトソン // え
オスターグレン晴子 // やく

福音館書店

E/ト

スウェーデン生まれの作者の、身近な鳥の鳴き声を集めた絵本。個性的な鳥たちの鳴き声に耳を澄ませてみてください。

🐦 『鳥は恐竜だった』

鈴木 まもる // 作・絵

アリス館

488.1/ス

大昔、恐竜がいた時代に鳥はいませんでした。どうして恐竜が滅び、鳥が生き残ったのでしょうか？鳥の巣のつくりから、どのような進化をしていったのかを見ていきましょう。

🐦 『ちいさな鳥の地球たび』

藤原 幸一 // 写真・文

岩崎書店

E/チ

キョクアジサシという鳥は、夏は北極で子育てをし、秋が訪れるとごちそうを求めて南極へ向かいます。大迫力の写真と一緒に、キョクアジサシの「キア」と地球を旅しましょう。